

筑前国の志賀の白水郎の歌十首

三八六〇番

大君おほきみの遣つかはさなくに さかしらに 行きゆし荒雄あらを
ら 沖おきに袖そで振ふる

三八六一番

荒雄あらをらを 来こむか来こじかと 飯いひ盛もりて 門かどに出いで
立たち 待まてど来きまさず

三八六二番

志賀しかの山やま いたくな伐きりそ 荒雄あらをらが よすかの
山やまと 見みつつ偲しのはむ

三八六三番

荒雄あらをらが 行ゆきにし日ひより 志賀しかの海人あまの 大浦おほうら
田沼たぬは さぶしくもあるか